# 不離一体シート（同友会活動と会社経営は不離一体）

作成日 ：令和8年10月13日

会社名：　特定非営利活動法人アップル・シード 社員数：18人（内、パート12人）
氏　名：　成瀬毅（地区）守山　　年商：約82（百万円）
事業内容：障害福祉

↓任意

| 西暦 | 和歴 | 年齢 | 会内役職 | 三位一体の自立型企業づくり | 気付き、学び（エポックメイキング・変遷の要） | 会社の変化 | 社員数（）内はP・A | 売上（百万） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2011 | 平成23 | 33 | | | 瀬戸市内にあるしょうがい児者支援のNPO法人に就職。しょうがい児者のヘルパーとして活動を開始。 | | | | |
| 2014 | 平成26 | 36 | | | 自閉症に関する翻訳・解説本『自閉症論資料集の試み』を出版する。中日新聞地元欄や地元FM番組で取り上げられる。これが独立の遠因となった。 | | | | |
| 2015 | 平成27 | 37 | | | 前職を退職。すぐに約20才年上の「仲間」や旧友・知人とNPO設立総会を開き、法人認証までの半年弱を耐え忍ぶ。 | H27.9.25、名古屋法務局に法人登記。この年はほぼ準備期間。登記上の「主たる事務所」も当初は自宅。 | | | |
| 2016 | 平成28 | 38 | | | 自分で考えて行動する喜びを謳歌する。と同時に、「互いに深入りしない」「無駄な残業をしない」「さっさと帰る」ことを暗黙の了解に、公私割り切った会社にした。 | 実質的な事業開始の年。4/1から初めての事業所「就労継続支援B型事業所ジョブ・シェアード」を瀬戸市美濃池町にオープン（定員20名）。当初から精神障害者への対応を期待される（ex.長久手社協）。 | 5（2） | 6.3 | |
| 2017 | 平成29 | 39 | | | 上記でうまく行ったかのようで、最初期のスタッフは定着し、ゆるく運営していた。 | 当初こそ成果については辛抱だったが、着々と利用者もスタッフも集まる。障害者雇用も試みる。 | 8（4） | 20.4 | |
| 2018 | 平成30 | 40 | （「あいち経営フォーラム（11/20）」にゲスト参加） | | 精神科小説『動物園』上梓。また、地元インターナショナルスクール名古屋国際学園での「Creating Connections 2018」（愛知県大A.カールソン氏主催）にて「Representation of a Neuro-atypical Minority in a Japanese Pop Song」（英文）のスライド発表。 | 7/1からB型事業所と事務所を瀬戸市福元町の現住所に移転。障害者雇用も始めた。自分で障害当事者を雇ったことで、障害者向け就労支援の「光と影」をより考えるようになった。 | 8（4） | 26.4 | |
| 2019 | 平成31令和元 | 41 | | | 発達障害者活動家の盟友・冠地情氏の推薦で地域精神保健福祉機構コンボ「こころの元気＋」に記事掲載（「僕らの愛すべき、僕らを苦しめる心理原則を乗り越えるために」）。再び、「Creating Connections 2019」にて、「Another look at Autism」（英文）のスライドを発表。 | この年、GH運営を見据えて拡大への対応も企図して税理士・社労士と顧問契約。「餅は餅屋」。4月からGH事業開始。グループホーム（以下GH）運営大変💦「社会の物差し」で好ましく変わるとは限らない。「人格変容の成果主義」も大いに疑問。まず変わるべきは誰？ | 20（16） | 47.7 | |
| 2020 | 令和2 | 42 | | | GH責任者兼任時代、シフト穴埋めで「代打バッター俺」的な機会増え、「プレイングマネジャー」について考えること増。 | ・1/1からGHを増やす（定員6名→11名）<br>・10/1からGHサテライト住居（1人暮らしの練習用住居）を追加（定員11名→12名） | 23（17） | 63.0 | |
| 2021 | 令和3 | 43 | 同友会・守山地区入会（8月）<br>（粥川チーム） | 暫定経営指針書作成（地区・支部で発表） | 「会社の片腕」を必要と思い、若手の引き上げをはじめる（自分のために、会社のために、また本人のために）。また、「世間」との「新たな付き合い」が、はじまった。。。 | 初期常勤職員が会社のお金窃盗で逮捕。初期パートも方向性の違いで辞職。立ち上げメンバーは私ともう一人の役員スタッフの2人。国の処遇改善加算を獲るためもあるが、研修に力を入れるようになる。 | 23（17） | 65.0 | |
| 2022 | 令和4 | 44 | 谷口チーム・PJL | | 前期の教訓から、「収益」と「善意」のバランスを再考し、当期は黒字（「お人よし」は「優しさ」ではない。「強くないと、生きていけない」）。再び、「Creating Connections 2022」にて、当事者の友人と2人でスライド「日本語の苦手な日本人」発表。 | 重度障害者対応GH建設断念→しょうがい当事者1人暮らしサポート事業画策。 | 23（18） | 69.4 | |
| 2023 | 令和5 | 45 | 成瀬チーム・チーム長 | ・1枚の経営指針書（改）（支部で発表）<br>・役員研修大学修了 | サービス利用者は集まっている中で、大きな赤字を経験。同友会活動に馴染みはじめるとともに、様々に「収益化」を考えるきっかけに。 | R5.1「自立生活援助事業所エール」開所。相談支援事業所の併設を前提とした計画の一環。R6.3.6菊華高校説明会参加。 | 30（25） | 80.0 | |
| 2024 | 令和6 | 46 | 鶴見チーム・チーム長補佐<br>地区経営指針推進担当副会長 | ・名1支部指針入門編運営<br>・1枚の経営指針書（改）（支部委員会で発表） | 結局、収益性が高い就労Bの拡大による会社安定が愁眉かつ目下の課題と考えるが、以前と利用者さんの集まり方が変化している・・・<br>※「オンライン研修」ファシリテーターのアルバイトをはじめる。 | R6.2相談支援事業所アンブレラ（管理者兼相談支援専門員）、R6.7就労継続支援B型事業所ジョブ・シェアード「にじいろ林檎工房」・日中一時支援事業所ウィズ開始。スタッフ減・不採算事業（エール）廃止を行ない、次期へ繋げる年度にした。 | 33（27） | 80.0 | |
| 2025 | 令和7 | 47 | 渡辺チーム<br>地区経営指針推進委員長 | ・名1支部指針入門編運営<br>・経営指針作成編参加 | 「NPO」「福祉」に象徴される「善意」「持ち出し」を、「成瀬ならでは」でなく、アップル独自の「付加価値」ある業務として切り出すために考えてきた集大成として、新事業スタート中。 | 前・前々期の大赤字を機に、「支出を抑え、収入を増やす」凡事を徹底。R8.2相談支援事業移設（瀬戸⇒守山）。R8.3.11菊華高校説明会参加。 | 25（21） | 82.0 | |
| 2026 | 令和8 | 48 | 神谷チーム<br>名1支部幹事（経営指針委員会） | ・名1支部指針入門編運営<br>・6/21経営指針発表会（自社）<br>・12/22入門編「方針・計画」報告（予定） | 大都市郊外での利用者減問題。同時にB型事業所は地域企業との連携望ましいながら多地域にまたがるFC事業所台頭や、利用者の「ひきこもり化」及びオンライン自宅作業増大による変化大。 | アップル・シードが「メンタル起因の課題に強く、正面から取り組む」地域の組織として、地域からより認知していただくためにも、社外からはじめて人を招いた「経営指針発表会」を開催（地縁組織、信金、精神科医、同友会名1支部指針委員等、同業、支援者）。「メンタル」には発達と知的も加える。なお、特支新卒の大幅受入も可能となる。10月からGH夜勤廃止（脱赤字＆自立支援強化）。 | 18（12） | | 「収入微減」「収益増」見込み |